



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信／国内／株式

2018年12月7日

- ★ 東証マザーズなどに上場する新興市場株は、株価の調整が進みましたが、過去の季節性を考慮すると、今後は、新興市場株が選好されやすい局面を迎えると考えられます。
- ★ 当ファンドでは、新興市場上場銘柄を有望な投資対象のひとつと考え、独自のビジネスモデルなどを背景に中長期的な成長が期待される銘柄に積極的に投資しております。

1. 株価の調整が進んだ東証マザーズ市場

2018年の国内株式市場は、米国長期金利の上昇や米中貿易摩擦に伴う景気減速に対する懸念から不安定な推移となっています。新興市場の代表的な株価指数である東証マザーズ指数は、今年1月の高値から下落基調にあり、主力銘柄で構成される日経平均株価との比較でみても調整が進んだと考えられます【図表1】。

2. 新興市場株の季節性

過去5年(2013年～2017年)の東証マザーズ指数の月別騰落率をみると、年初から5月までは上昇し、その後、年央の調整を経て年末にかけて回復しやすいという季節性が確認されます【図表2】。一方、2018年の東証マザーズ指数は、1月こそ上昇しましたが、その後は調整色を強め、10月には大幅に下落しました。ただ、1月以降の株価の調整により、株式需給面の「しこり」がほぐれていると考え、今後は、過去の季節性に沿った形で新興市場株が選好されやすくなると想定します。

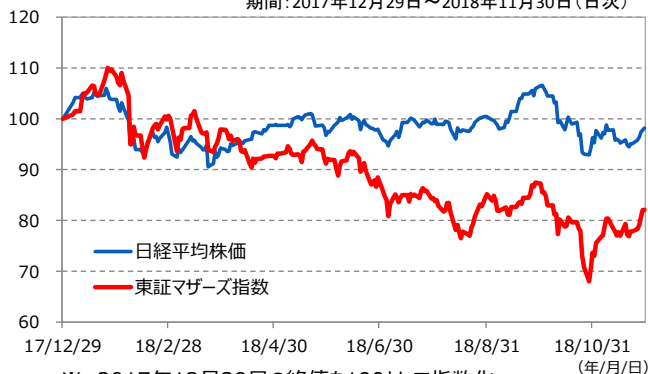
3. 当ファンドの運用状況

新興市場に上場する企業のなかには、独自の強みや特色のあるビジネスモデルにより業績拡大を続ける魅力的な企業が存在します。一方、新興市場株は企業規模が相対的に小さいこともあり、業績変化や株価変動が大きくなる傾向があるほか、大型株に比べ、市場流動性が低いことなど新興市場株特有のリスクがあると考えられます。

当ファンドの運用につきましては、中長期的な利益成長が期待される企業を選別するなかで、新興市場株にも積極的に投資しております【図表3】。今後も地道な企業調査による銘柄選別を通じて、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

【図表1】国内主要株価指数の推移

期間: 2017年12月29日～2018年11月30日(日次)

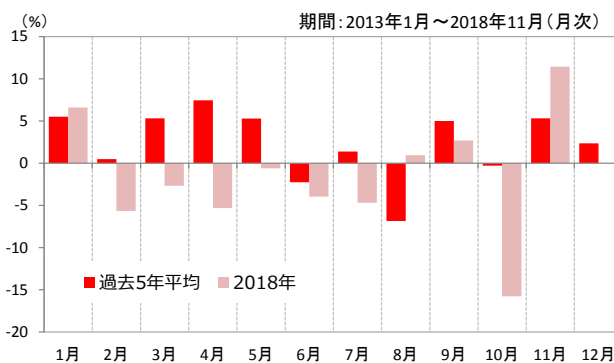


※ 2017年12月29日の終値を100として指数化

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【図表2】東証マザーズ指数の月別騰落率

期間: 2013年1月～2018年11月(月次)

※ 過去5年平均は2013年～2017年の月別騰落率の平均値
(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【図表3】新興市場上場の主要組入銘柄

2018年11月30日時点

銘柄コード	銘柄名	上場市場	業種	事業概要	構成比
3479	ティーケービー	東証マザーズ	不動産業	貸会議室の運営大手	2.8 %
6094	フリーアウト・ホールディングス	東証マザーズ	サービス業	インターネット広告をリアルタイムで取引・配信するサービスを提供	1.8 %
3990	UUUM	東証マザーズ	情報・通信業	ユーチューバー(動画投稿者)のサポート事業を展開	1.8 %
6553	ソウルドアウト	東証マザーズ	サービス業	地方企業を中心にWebマーケティング支援サービスを提供	1.6 %
4384	ラクスル	東証マザーズ	情報・通信業	インターネットを通じて印刷や運送サービスを仲介	1.6 %
6736	サン電子	ジャスダック	電気機器	遊戯関連機器メーカー。モバイル関連ビジネスに注力	1.0 %

※ 構成比は当ファンドの純資産総額に対する比率です

※ 上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

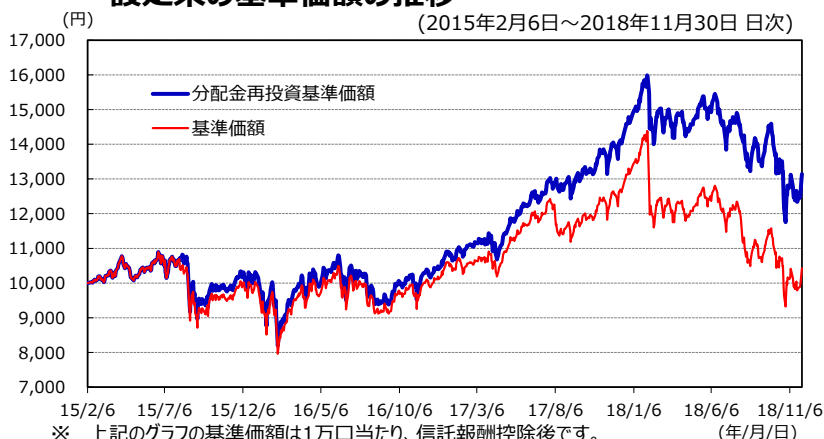
■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2018年11月30日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	10,426円
純資産総額	5,464,729,937円
株式組入比率	95.0%
組入銘柄数	79銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

分配金実績

設定来累計	2,800円
-------	--------

※ 分配金は1万口当たり（税引前）です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	情報・通信業	22.3 %
2	サービス業	14.5 %
3	小売業	10.1 %
4	化学	8.6 %
5	卸売業	8.2 %
6	ガラス・土石製品	6.2 %
7	電気機器	4.5 %
8	不動産業	4.3 %
9	機械	4.0 %
10	医薬品	3.3 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	3679	じげん	3.4 %
2	4587	ペプチドリーム	3.3 %
3	5344	MARUWA	2.8 %
4	3479	ティーケーピー	2.8 %
5	3696	セレス	2.7 %
6	3092	ZOZO	2.2 %
7	6058	ベクトル	2.1 %
8	7198	アルヒ	2.0 %
9	4974	タカラバイオ	1.8 %
10	6094	フリークアウト・ホールディングス	1.8 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	9.3 %
東証1部小型株	64.1 %
東証2部	0.9 %
ジャスダック	2.9 %
東証マザーズ	17.7 %

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色



- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
 ※日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.6632\% \text{ (税抜} 1.54\%)$
 - その他費用・手数料
監査費用： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0108\% \text{ (税抜} 0.01\%)$
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長(金商)第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)